

「平成29年度 ナガエツルノゲイトウ駆除作戦（第1回）」参加報告

平成29年6月18日（日）、千葉用水総合管理所では、印旛沼に通じる新川に流れ込む八千代市内の桑納川（かんのうがわ）で行われた、特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の駆除作戦（第1回）に参加しました。



作業前のミーティング

駆除作戦の目的と目標

目的：大和田排水機場の治水リスクの軽減

- 出水時にナガエツルノゲイトウの群落が排水機場のスクリーンに目詰まりするなど、印旛沼の治水リスクとなっており、これを軽減する。

目標①：効果的な管理方法の確立

- 再生力が非常に強く、不適切な管理によってかえって増殖することが懸念されるため、生態的特徴を踏まえた効果的な管理方法を確立する。

目標②：地域協働による持続可能な管理体制の構築

- 再・再生することや、農地等流域に広く分布していることを踏まえ、地域協働による持続可能な管理体制を構築する。



人力による除去作業風景

駆除作戦の参加者

印旛沼流域水循環健全化会議の呼びかけにより、東邦大学、千葉大学、環境パートナーシップちば、千葉県、千葉市、八千代市、印旛沼土地改良区、関東農政局、NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）など、総勢80名を超える参加者となりました。当千葉用水総合管理所からも8名の職員が参加しました。（機構からボート1艇を出しています。）



重機とボートで群落を集積

今回の作業内容

今年度第1回目の駆除作業ということで、桑納川下流をA班（全て人力作業）、上流部をB班（人力及び重機併用）に分かれて大群落から小群落の除去を行いました。B班はさらに2カ所に分かれて人力作業チームと重機併用チームでそれぞれ作業を行いました。ボート班は浮遊群落などを各班作業ポイントまでの移動と、作業により千切れて浮遊しているナガエの切れ端をたも網ですくい取る作業。

当日は、朝からあいにくの曇天で午後からは大粒の雨が降り出し、参加者全員びしょ濡れになりながらも予定どおり作業を終え、桑納川の群落は全て除去されました。

除去したナガエは、大和田機場まで運搬し仮置きした後、後日八千代市クリーンセンターへ搬出します。

作業終了後には、反省会を行い今後の作業の進め方や駆除方針等について話し合いを行いました。

この駆除作戦は平成27年度から継続し、今年で3年目を迎えます。次回は7月に実施予定です。



人力による作業風景



大和田機場敷地内に仮置き